

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 樹脂成形	<input type="checkbox"/> 電子部品	<input type="checkbox"/> 鍛造・鋳造	<input type="checkbox"/> プレス加工	<input type="checkbox"/> 表面処理
	<input type="checkbox"/> 機械加工	<input type="checkbox"/> 金型・治工具	<input type="checkbox"/> 自動機・装置	<input type="checkbox"/> システム・ソフトウェア	
	<input type="checkbox"/> 素材 <input type="checkbox"/> その他()				

展示No.	提案名	工法	新規性
4	樹脂化による軽量化	樹脂成形	

セールスポイント

- ・熱硬化性/熱可塑性 双方の樹脂成形が可能
- ・金属部品の樹脂化により最大80%の質量低減の実績
- ・大和グループで開発～試作～評価～生産まで一貫して対応

提案技術・提案工法

【軽量化】

◆熱硬化性/熱可塑性プラスチック双方の特性を最大限に生かし、軽量化を提案
車載用プーリー



クラッチ部品

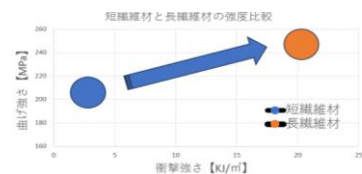


◆熱硬化性長繊維含有樹脂を用いた部品開発



ココがポイント

- ・高耐熱を有する熱硬化性フェノール樹脂にガラスまたはカーボンファイバーを加えた素材。
- ・成形品に含まれる残存繊維を長く残すことで機械的強度が向上。
- ・従来、圧縮成形に限定されていた長繊維の使用を射出成形でも対応可能としたことで、生産性向上。



記載の数値は代表値であり、保証値ではありません
熱公差性樹脂の機械特性は、射出成形で成形したISO準拠の試験片で試験実施。

適用可能な製品/分野	製造可能な精度/材質等
■高強度が求められる金属部品の置き換え	■150×150mmサイズまで対応可 ■熱硬化性→PF/UP/PDAP、熱可塑性→エンジニアプラスチックの生産可
問題点(課題)と対応方法	開発進度 (年 月 現在)
■課題は原材料のコスト高(複合素材の長繊維GF,CF) 圧縮→射出成形へ切替えした際のCT短縮、多数個取りによる生産性向上の検討が必要	<input type="checkbox"/> アイデア段階 <input checked="" type="checkbox"/> 試作/実験段階 <input type="checkbox"/> 開発完了段階 <input checked="" type="checkbox"/> 製品化完了段階
提案の狙い/従来との比較(数値割合)	パテントの有無
<input checked="" type="checkbox"/> 原価低減 () <input type="checkbox"/> 品質/性能向上 () <input checked="" type="checkbox"/> 質量低減 (70~80%) <input type="checkbox"/> 安全/環境対策 () <input type="checkbox"/> 生産(作業)性向上 () <input type="checkbox"/> その他() ()	<input type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無

会社名	所在地
株式会社大和合成宮崎	宮崎県小林市須木奈佐木3951
連絡先	URL : http://www.daiwa-pls.co.jp/
部署名: 営業技術部	Tel No. : 0984-48-3400
担当名: 中原 広次	E-mail : nakahara@daiwa-m.co.jp
主要取引先	海外対応 <input checked="" type="checkbox"/> 可 ((生産拠点国を記入) ベトナム) <input type="checkbox"/> 否